

## 2 プリンタードライバのインストール

クライアントPCにプリンタードライバ、またはプリンター記述ファイル（PPD）をインストールする手順について説明します。

- 2.1 Macクライアント ..... P.9
- 2.2 Windowsクライアント ..... P.11

Mac（macOS）クライアントとWindowsクライアントで、インストール方法が異なります。プリンタードライバを設定するには、接続するプリントサーバーの【ゲートウェイ】に【TCP/IP】の論理プリンターが作成されている必要があります。

### 補足

プリントサーバーのコンピューター名、論理プリンター名などがわからない場合は、ネットワーク管理者（プリントサーバーの設定担当者）に確認してください。

### 参照

- ・論理プリンターについては、『サーバー設定編』の「3 論理プリンターの設定」を参照してください。
- ・プリンタードライバで設定できるジョブプロパティについては、『ジョブプロパティ編』の「9.1 各ダイアログボックスのジョブプロパティ」を参照してください。

### 2.1 Macクライアント

インストールの前に、あらかじめ、プリンタードライバプラグインをダウンロードしておきます。

### 補足

プリンタードライバのインストールは、OSの再起動直後に実施してください。

## ■ プリンター記述ファイルのインストール

1. **「X10.12\_APGPN01\_V300\_PPD\_JPN」フォルダー内の「10.12\_APGPN01\_V300\_PPD\_JPN.pkg」をダブルクリックします。**  
「X10.12\_APGPN01\_V300\_PPD\_JPN」フォルダーは、ダウンロードした「10.12\_APGPN01\_V300\_PPD\_JPN.dmg」を展開すると表示されます。
2. **「続ける」をクリックします。**
3. **「インストール」をクリックします。**
4. **管理者の名前とパスワードを入力し、「ソフトウェアをインストール」をクリックします。**  
インストールが開始されます。
5. **インストールが完了したら、「閉じる」をクリックします。**

## ■ プリンターの作成

### 補足

Bonjour機能を使用して、プリンターの作成もできます。  
Bonjour機能については、「Bonjour機能」（P.11）を参照してください。

1. **「システム環境設定」で「プリンタとスキャナ」をクリックします。**

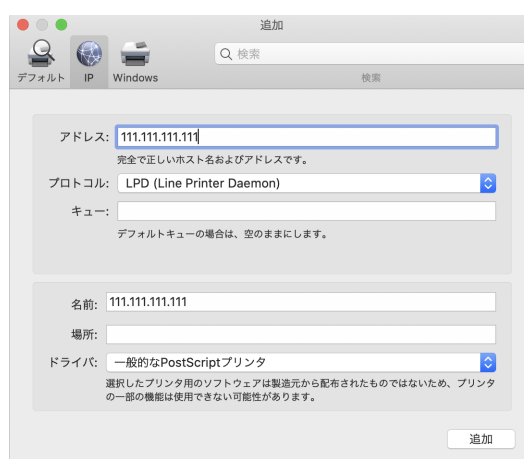
2. **[+]** をクリックします。



3. **[IP]** をクリックします。



4. **[プロトコル]** で、**[LPD (Line Printer Daemon)]** を選択し、**[アドレス]** にプリントサーバーのIPアドレスを、**[キュー]** に接続するプリントサーバーのTCP/IP用の論理プリンター名を入力します。

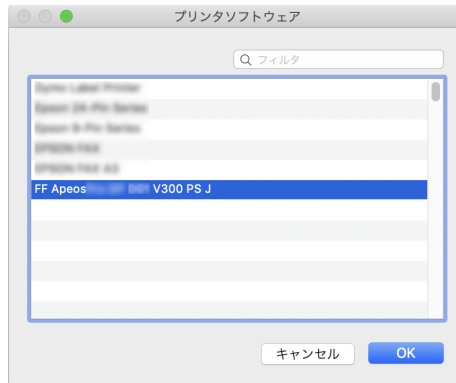


5. 必要に応じて、**[名前]** と **[場所]** を入力します。

6. **[ドライバ]** で **[ソフトウェアを選択]** を選択します。

7. プリンタソフトウェアの一覧から **[FF Apeos GP N01 V300 PS J]** を選択し、**[OK]** をクリック

します。



8. **[追加]** をクリックします。

プリンターが追加されます。

9. **[プリンタとスキャナ]** を閉じます。

**補足**

プリンターを使用する前に、「3.1 Macクライアント」(P.17) を参照してリソースの取得を行ってください。リソースの取得を行わないと、プリントサーバーに登録されているプロファイルを表示できません。

## Bonjour機能

IPネットワーク内の機器やサービスなどを自動で検出するBonjour機能によって、プリンターの追加が簡単にできます。

**補足**

- Bonjour 機能を使用するときは、リンクメニューの **[設定]** アイコン → **[システム設定]** → **[プロトコル設定]** → **[Bonjour]** が **[起動]** になっていることを確認してください。  
Bonjour機能については、『サーバー設定編』の「4.4 プロトコル設定」を参照してください。
- Bonjour 機能を使用してのプリンターの作成は、プリンター記述ファイル (PPD) をインストールしたあとに行ってください。
- Bonjour 機能を使用するには、プリンターを設定するクライアントPC とプリントサーバー が同一のサブネット内に接続されている必要があります。

1. **[システム環境設定]** で **[プリンタとスキャナ]** アイコンをクリックします。

2. **[+]** をクリックします。

3. **[デフォルト]** をクリックします。

Bonjour機能が設定されているプリンターが表示されます。

4. プリンターを選択し、**[追加]** をクリックします。

5. **[ドライバ]** で **[ソフトウェアを選択]** を選択します。

6. プリンタソフトウェアの一覧から **[FF Apeos GP N01 V300 PS J]** を選択し、**[OK]** をクリックします。

## 2.2 Windowsクライアント

従来のPostScript形式でデータを送信するPSプリンタードライバに加え、PDF形式でデータを送付する、PDFプリンタードライバがあります。  
インストールの前に、あらかじめ、プリンタードライバプラグインをダウンロードしておきます。

### 補足

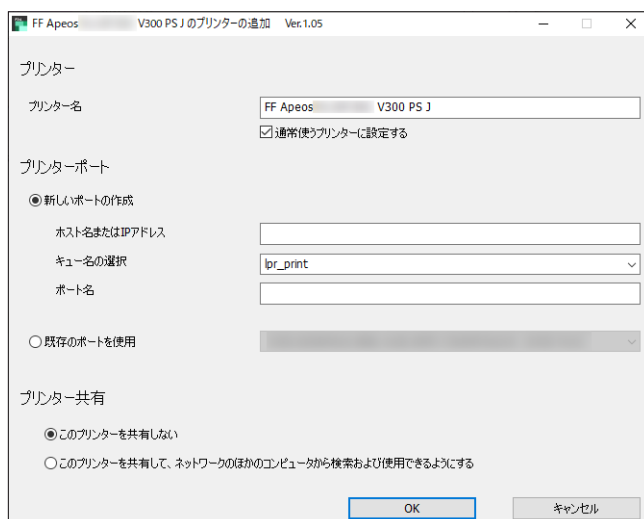
プリンタードライバのインストールは、OSの再起動直後に実施してください。

## ■ プリンターの作成

### 補足

- ・プリンタードライバのインストールは、管理者アカウントでWindowsにサインインしてください。
- ・プリンタードライバを使用するには、Microsoft .NET Framework 4以降がインストールされている必要があります。詳細は、「1.2 ソフトウェアのダウンロード」(P.3)を参照してください。
- ・最新情報はプリンタードライバに付属の「readme」ファイルを参照してください。
- ・Bonjour機能を使用して、プリンターの作成もできます。  
Bonjour機能については、「Bonjour機能」(P.11)を参照してください。

1. ダウンロードした「PSDriver\_PPD.exe」(PDFプリンタードライバは「PDFDriver\_PPD.exe」)をダブルクリックして、展開します。
2. 展開したフォルダー内の「Setup.exe」をダブルクリックします。
3. 各項目を設定し、[OK]をクリックします。



## ■ プリンター

### ■ プリンター名

デフォルトでは、プリンタードライバの名称が表示されます。  
必要に応じて、変更します。

### ■ プリンターポート

#### ■ 新しいポートの作成

新しいポートで、プリンターを作成します。

#### ホスト名またはIPアドレス

プリントサーバーのIPアドレスを入力します。

#### キュー名の選択

接続するプリントサーバーのTCP/IP用の論理プリンター名を選択、または入力します。

#### ポート名

Windowsのポートに表示されているポート名を入力します。  
デフォルトでは、IPアドレスとキュー名の入力に連動して、「IPアドレス\_キュー名」のように表示されます。

#### ■ 既存のポートを使用

使用するポートを選択します。

#### ■ プリンター共有

プリンターを共有するときは、[このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする] を選択し、[共有名]、[場所]、および [コメント] を入力します。

#### 4. 次のダイアログボックスが表示された場合は [インストール] をクリックします。

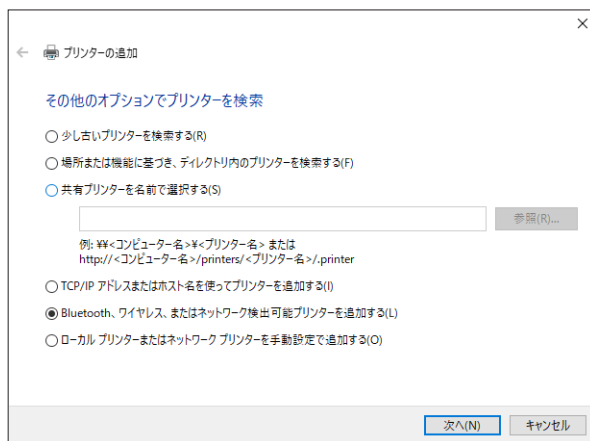


### 共有プリンターを使う場合

#### 補足

共有プリントでは、NetBIOS over TCP/IPが開いている必要があります。  
NetBIOS over TCP/IPについては、『セキュリティ対策と安全に関する情報』を参照してください。

1. Windows の [スタート] → [Windows システムツール] → [コントロールパネル] → [デバイスとプリンター] を選択します。
2. [プリンターの追加] をクリックします。
3. プリンターを選択し、[次へ] をクリックします。
4. [Bluetooth、ワイヤレス、またはネットワーク検出可能プリンターを追加する] を選択し、[次へ] をクリックします。



#### 補足

- ・プリントサーバーに登録されているユーザー名と同じユーザー名でクライアントPCにサインインしている場合、[ユーザー認証] ダイアログボックスが表示されます。この場合、ネットワーク管理者に確認して、ユーザー名、パスワードを入力してください。
- ・共有プリンターの一覧にプリントサーバーが表示されない場合は、[探しているプリンターはこの一覧にはありません] をクリックし、プリントサーバーの情報を入力してください。

#### 6. [次へ] をクリックします。

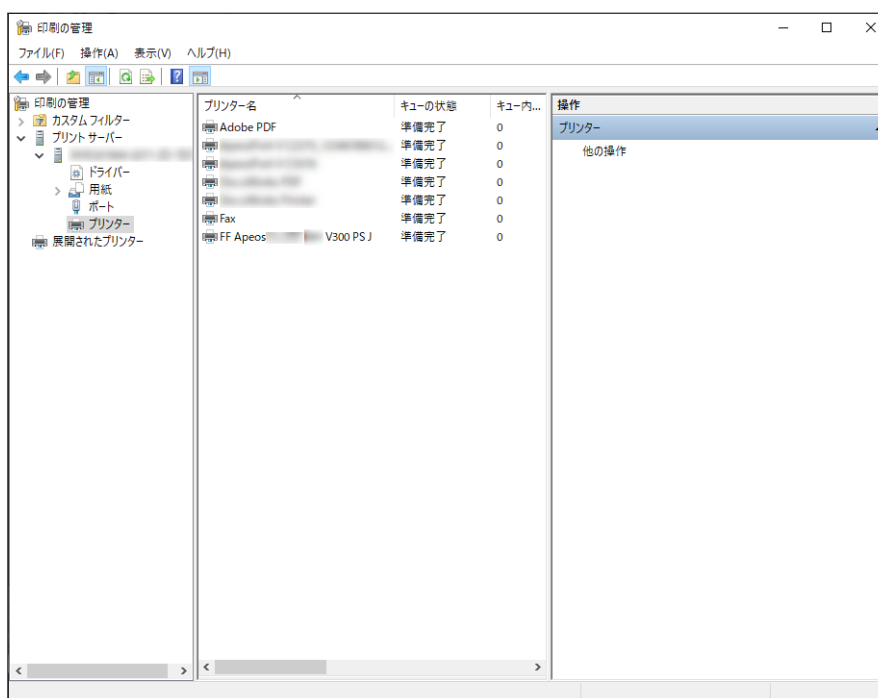
7. [完了] をクリックします。

## プリンターの削除

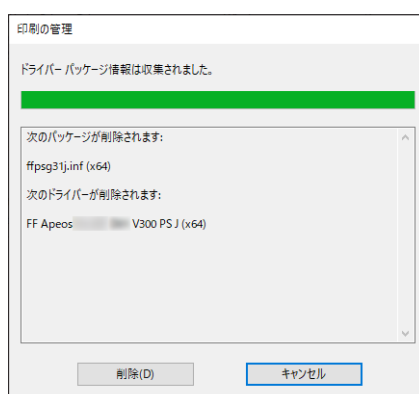


Windowsの [スタート] → [Windowsシステムツール] → [コントロールパネル] → [デバイスとプリンター] → [デバイスの削除] では削除できません。

1. Windowsを再起動します。
2. Windowsの [スタート] → [Windows管理ツール] → [印刷の管理] をクリックします。
3. 左側のツリーで、[プリントサーバー] → {コンピューター名} → [プリンター] をクリックします。



4. 削除するプリンターを右クリックし、[削除] を選択します。
5. [はい] をクリックします。
6. 左側のツリーで、[プリントサーバー] → {コンピューター名} → [ドライバー] をクリックします。
7. 削除するプリンタードライバーを右クリックし、[ドライバーパッケージの削除] を選択します。
8. [削除] をクリックします。



9. [OK] をクリックします。

10. Windowsを再起動します。

## Bonjour機能

IPネットワーク内の機器やサービスなどを自動で検出するBonjour機能によって、プリンターの追加が簡単にできます。

「Bonjour Print Services (Windows)」がインストールされていることを確認します。

### 補足

- Bonjour 機能を使用するときは、リンクメニューの [設定] アイコン → [システム設定] → [プロトコル設定] → [Bonjour] が [起動] になっていることを確認してください。  
Bonjour機能については、『サーバー設定編』の「4.4 プロトコル設定」を参照してください。
- Bonjour機能を使用してのプリンターの作成は、プリンタードライバをインストールしたあとに行ってください。
- Bonjour 機能を使用するには、プリンターを設定するクライアントPC とプリントサーバー が同一のサブネット内に接続されている必要があります。
- 「Bonjour Print Services (Windows)」がインストールされていない場合は、Apple Inc.のWebサイトからダウンロードして、インストールしてください。

1. デスクトップの「Bonjour プリンター ウィザード」アイコンをクリックします。

Bonjour機能が設定されているプリンターが表示されます。

### 補足

Windows の [スタート] → [Bonjourの印刷サービス] → [Bonjourプリンター ウィザード] を選択しても、起動できます。

2. プリンターを選択し、[次へ] をクリックします。

3. [完了] をクリックします。

## PDFプリンタードライバ

PostScriptが持つ問題が解消され、オフィス系文書の再現性が向上します。

DTP系のアプリケーションからプリントする場合は、PDF のパススルー方式に対応したアプリケーションを利用して、APPE (ジョブプロパティの [設定] > [処理オプション] > [RIPの種類] > [APPE] を選択する) でプリントすることを推奨します。

### 補足

- PDFプリンタードライバは、Windows 10、Windows 8.1に対応しています。(最新の対応OSについては、弊社公式サイトのダウンロードサービスから、お使いの機種のパージをお読みください)
- PDFプリンタードライバでプリントエラーが発生する場合は、全ページ分のデータをスプールしてください。
- WindowsクライアントのPDFプリンタードライバで部数指定する場合、[プリント] ダイアログボックスの [プロパティ] をクリックして表示される [部数] を使用してください。[プリント] ダイアログボックスのアプリケーションが表示する部数指定は無効になります。

### 参照

PDFプリンタードライバには、制限事項があります。『ジョブプロパティ編』の「10 注意制限事項」を参照してください。